



📍 本社所在地 / 蒲都市三谷北通6丁目209番地の1

🔍 業務内容 / 再生医療製品事業、再生医療受託事業、ラボサイト事業

👤 従業員数 / 237人(男性 100人・女性 137人)

## 制度と風土で支える 専門職女性のキャリア形成



### Interview

**Q** 女性活躍推進の経緯をお聞かせください。

**山田:** 我が社が取り組む再生医療という領域は少し特殊であり、知識・技術をもつ経験者人材の採用が難しいという問題があります。また人材の育成にも時間がかかります。有能な人材は男女問わず採用し、社員が能力を十分に発揮して働き続けられる環境整備に取り組んだ結果、多くの女性が活躍する会社になりました。

**松本:** 本格的な取組は、2008年に初めての産休取得希望者が同時期に3人現れ、育児介護制度検討委員会を設置したところからです。

**Q** どのような取組がされましたか？

**松本:** 育休前に制度の案内や休業中・復職後賃金のシミュレーションを行い、生活の見通しを立てやすくしました。育休中も定期的に人事が面談を行い、社内の状況を把握できるようにしています。

**Q** それは安心して休めますね。復帰後はどのようなサポートがありますか？

**松本:** 子どもが小学校卒業時まで短時間勤務が可能で、来年度からは中学校卒業時まで延長予定です。在宅勤務制度もあり、配偶者の転勤時には業務内容によってリモート勤務が可能です。製造・品質管理部門では在宅が難しいため、複数人で業務を分担し、休みやすい環境を整えています。

**Q** 社員の実情に寄り添って取り組んでこられたのですね。社員の声を集める工夫はありますか？

**吉村:** 社員代表による意見収集や相談窓口の設置、社内報の発信などで社内コミュニケーションを促進しています。さらに、一人の社員に対して、他部署の複数の上役がメンターとして関わると同時に、他部署の複数の社員がメンターとして対話や相談をできる新しいメンター制度を導入しました。部署や世代を越えてさまざまな人と話すことで、視野が広がり、社員の成長や人材育成にもつながっています。

**Q** 鈴木さんに伺います。入社きっかけをお聞かせください。

**鈴木:** 大学や医薬品・食品メーカーで働いた経験を活かしたいと考え入社しました。年齢性別問わず、一人ひとりが新しいことに取り組んでいく社風なので任されることも大きくやりがいがあります。数々の部署異動を経験し、その都度学ぶことが多かったですね。

**Q** 部署異動の際に不安はありませんでしたか？

**鈴木:** 異動の直後は毎回不安でいっぱいですよ。でも状況が見えてくると、「この部分は今までの経験が使えるな」と自分にできることが見えてきます。分からないところは皆の力を借りながら自ら学び乗り越えてきました。部署異動を通して仕事の幅が広がり、キャリア形成の考え方が変わりました。

**Q** 先輩や上司の支えて嬉しかったことはありますか？

**鈴木:** 育休から復帰した直後、他部署の管理職の方から「いつかやれる時が来るから焦るな」と声をかけてもらったことです。以前と同じようにパフォーマンスをあげなげやと肩に力が入っていたことに気づき、緊張がとけました。

**Q** 管理職にはご自身からチャレンジしようと思われたのですか？

**鈴木:** 最初に上司に勧められた時は無理だと思いました。子どもが病気の時に休むうしろめたさや家族の負担を思うと、家族を優先したい思いもありました。でも上司はやれると思って声をかけてくれていると気づき、「ダメだったらやめてもいい。とりあえずやってみよう」と引き受けました。部署異動の時も「なんとかやってきた」と思えて、その時の経験がチャレンジを後押ししてくれたと思います。

**Q** 今後管理職を目指す方にメッセージをお願いします。

**鈴木:** 変化を受け入れ、乗り越えることで、人は大きく成長できると思います。少しでも「やってみたい」という思いがあり、そのチャンスがあるなら、是非チャレンジしてみてください。きっと新しい景色が見えてきますよ。

